

ウェブサイトの種類

種類は3つ

1: 知り合いやお友だちに頼まれて作る「クライアントワーク」

- ・ 美容院のサイト、お店のサイト、会社のサイト、EC サイトなどなど

2: ポートフォリオサイトなど、自分のための作品「プライベートワーク」

- ・ ポートフォリオサイト、自社サイト

3: Web 上で、誰かの問題を解決するサイト「ウェブサービス」

- ・ 地域情報がわかるサイト、お天気サイト、Google のサービスや Facebook など

企画書

企画書は、ものすごくだいじ。

- ・「なぜサイトが必要なのか？」という目的を確認
- ・あとで迷ったときのための「道しるべ」
- ・クライアントさんとのコミュニケーションの道具

企画がダメなサイトは、かならずダメサイト。

企画書

企画書の構成例

1. サイトの題名……サイトの名前
2. サイトの目的……集客、販促？ クライアントさまのサービスや情報は？
3. サイトのコンセプト……デザインコンセプトやコンテンツコンセプトをできるだけ明確に
4. ターゲットユーザー……誰に一番見て欲しい？ 年齢、性別、シチュエーション等
5. 競合との比較……クライアントさまのメリット・ユーザーさんのメリット、リサーチ
6. 検索キーワード……候補のキーワードでヒットするサイトも忘れずチェック！
7. サイトマップ……大まかなページ構成とディレクトリ構成
8. ワイヤフレーム……デザイン案のラフ。トップページとコンテンツ例
9. スケジュール……いつまでにどこまでやるのか？ 打ち合わせがあればそれも入れる

企画書

企画書の作り方

1: ひたすら調べる。

クライアントさんのこと、サイトを見る人のこと。その業界のこと。

2: ページ構成を、紙などに描いてみる。

いきなりデザインソフトに向きあわない。

3: 迷ったら聞く。もいちど調べる。

クライアントさんに聞く。講師に聞く。何なら、国会図書館に行く。